

湖西連峰縦走（尉ヶ峰～神石山）

日 時 5月11日（日）

メンバー 小池（単独）

時 間 **05:15 細江コース入口（国民宿舎のところ）～06:20 尉ヶ峰～07:40 富幕山～
11:15 平石山～12:45 本坂峠～15:09 梅田登山口**

夏前にしっかり歩き込んで暑さ慣れしておきたいと思い、湖西の縦走に行きました。

日の出とともに出発しようと、細江公園の駐車場でコーヒーを飲んでいたら、日が出てしまう。今回はハイキング装備だが、長時間歩行に耐えられるよう靴は軽登山靴にし、途中での補給は期待出来なかったのもので水は40持った。

富幕山までは朝の涼しい空気の中、鳥のさえずりを聞きながら、気持ちの良い歩きを楽しむ。尉ヶ峰頂上から少し先のパラグライダーの離発場から臨む浜名湖の景色がこのコースで一番の景色だった。道標がしつこく立っていたので、ゴールの予想タイムを計算する。走らないけど止まらず、出来るだけ歩き続け、下りは小走り、休憩は長くて5分といういつものペースで、ゴールは9～10時間後？という感じだった。

富幕山からは急に道標が無くなる。金山への道も良くわからなかったのも、居合わせたおじさんに聞くと丁寧に教えてくれた。瓶割峠から金山への登りは事前に確認したつもりだったが、やっぱり良くわからず、採石場に入ってしまう。途中まで登り間違えに気付いたが、面倒なので藪を漕ぎ、稜線に出る。

疲労してくると道を間違えがちになるのだが、案の定、雨生山の手前で南に向かう意識が強すぎて、三ヶ日に下山する道に入ってしまう。登り返して20分位ロスしたが、気持ちを切り替えて歩き出す。朝のうちは涼しかったが、この頃から日差しが強くなる。

湖西連峰は標高が低い、登り下りが多い。本坂峠までは変化の無い景色の中、我慢で登る。本坂峠以降は少しずつ整備も行き届いた道となり、大知波峠からは一度歩いたこともあったので、体はきつかったが気分は楽になる。

神石山は時間が遅かったのか、ほとんど人のいない静かな山頂だった。もはや尉ヶ峰がどれだかわからなかったが、景色を見ながら今日の行程を振り返り、自己満足した後、一気に梅田登山口を目指して下った。



（撮ったのはこんなだけでした）